

令和7年度

山辺中学校だより



No. 10

令和8年 1月28日発行 伊藤 岳彦

3学期が始まりました (3学期始業式校長講話より)

新年明けましておめでとうございます。3学期が始まります。

今日は「選ぶ力」という話です。3年生にとって、中学校生活最後のお正月を過ごし、そして、いよいよ目の前に卒業が見えてきました。3年生に限らず、みなさんは、中学校卒業前にとっても大きなハードルを乗り越えなくてはなりません。そのハードルとは、自分はどう生きるかを選択し、自分の生きる道を選ぶことです。それは、想像以上に大変な作業です。なぜなら、頑張って選んだ道が、正しいかどうか、よく分からなからです。もっといい選択肢があるかもしれない。でも、誰も正解を教えてくれないし、実は、誰も正解を知らないからです。結局、自分以外の誰にもそれは決めることができません。時間が経って振り返った時に初めて、「ああ、よかったです」とか「ああ、失敗した」とか、やっとわかると思います。

だから「生きる道を選ぶ」ことは、誰にとっても、大きな不安を伴う作業です。おそらく誰もが「この不安、どう乗り越えたらいいの?」って悩むことでしょう。

私は「悩んでみたって始まらない!選んだ道以外は捨てよう!」と考えました。みなさんはどう考えますか?

『生徒の意見より』

- 「そう思いません」1500mの種目を走っていて、早くするためには、300mをたくさん練習した方が、記録が伸びるからです。
- 「そう思いません」90才以上になっても現役で登山をしている人の「夢が叶ってよかったです」というニュースを見ました。夢を捨てずに持ち続けることで叶うこともあることを知りました。

私は、こう考えました。「選ぶ力」の正体は、「選ばなかった道は捨てる」と、「別の道へ逃げてよし!」の二つかなと。みなさんも言う通り、「選ばなかった道は捨てる」だけだと、うまくいかなかったとき、絶望に押しつぶされてしまう危険があります。人生はまだまだ長いのだから、必要以上に自分を追い詰めることはないと思います。だから、やってだめなら「別の道へ逃げてよし!」を残そう!ということです。

ただし、この二つの順番は重要です。最初から逃げたら、自分の中にある無限の可能性を自分が潰してしまうことになりかねないですから。

よって、私が考える「選ぶ力」の完成形は、「①先ずは『厳しく』」「選ばなかった道は捨てる」を貫き通す強い意志を持つこと。そして、「②やってだめなら『甘やかせ』」で「別の道へ逃げてよし!」も認めることです。順番が大事です!その上で、どこまで厳しく生きるかは、みなさん、それぞれ考えてください。

さらに、もう一つ、重要なことに気づきました。それは、「そもそも、どうやって選ぶの?」ってことです。「他を捨てる」にしても、「他へ逃げる」にしても、それはどちらを「選んだ後」のことだと思います。まずは、どれにするか選ぶ必要があると思います。そこには必ず、「選ぶための基準」が必要です。

どうですか。3学期の間に、各自考えてみましょう。みなさんがどんな回答を導き出すのか、楽しみにしております。

3学期が始まります。みなさんの「選択」において、私の「選ぶ力」がお役に立つことを、そして、この3学期が「嬉しい!また頑張ろう!」という気持ちに溢れた幸せな「学び」の時間となることを、大いに期待しています。

人生初&最大のハードル
生きる道を選ぶ!
…でも、すごく不安…
どう乗り越えたらいいの?
「選んだ道以外は捨てる!」

お題:「「悩んだら、選んだ道以外は捨てる!」でOK?」
「そのとおり」「ちょっと違うな」「むずかしいな」と理由

河西流「選ぶ力」←順番が重要!!
①先ずは「厳しく」「選ばなかった道は捨てる」
②やってだめなら「甘やかせ」「別の道へ逃げてよし!」
そもそも「選ぶための基準」はなに?

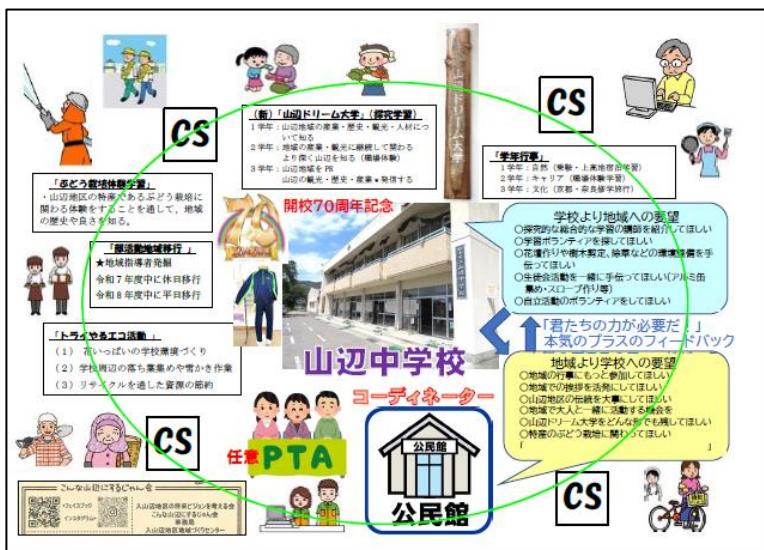
本校の非違行為防止に関する取り組みについて

本年度、教職員の非違行為防止に関してこれまでに月1回のペースで職員研修を行ってきました。テーマとしては「非違行為対応マニュアル」、「非違行為防止セルフチェックシート」、「職員同士のコミュニケーション向上」、「個人情報漏洩ニュースから学ぶ」、「懲戒処分」、「信頼される教職員を目指して」、「わいせつな行為根絶のための特別対策（改定案）」「ストレス発散の種類」、「自転車のスマホ・酒気帯び罰則強化」、松本警察署の方にご来校いただいて「飲酒運転が与える影響と怖さ」の講話、「誓い」の再確認等の研修会を行ってきました。今後も引き続き研修を進め、非違行為の防止に努めてまいります。

＜2月の主な行事予定＞

2月	2日(月)	公立前期受付（～4日）、小中連絡会②
	3日(火)	3年模擬テスト
	5日(木)	CS運営委員会
	7日(土)	山辺地区立志式2年生（午後）
	9日(月)	公立高校前期選抜、蔵書点検（～13日）
	10日(火)	学校徴収金口座振替日①
	11日(水)	建国記念の日
	12日(木)	1・2年期末テスト①
	13日(金)	1・2年期末テスト② SC来校日（午後）
	14日(土)	15日(日) 萩原杯バレーボール会場
	18日(水)	公立高校前期選抜発表
	20日(金)	学校徴収金口座振替日② SC来校日（終日）
	23日(月)	天皇誕生日 春の吹奏楽祭
	25日(水)	公立後期受付（～27日）
		27日(木) 新入生説明会（保護者）

山辺中コミュニティスクール情報



コミュニティスクール(CS)とは……学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある、地域に開かれた学校」への転換を図るために、文部科学省が推進している施策です。子どもたちの、予測困難な時代を生き抜く力の育成と、地域住民が自ら地域を創っていくという主体的な意識への転換を目指しています。そのため、学校と地域の連携・協働が必要になっています。

今年度も、連合会長さんや公民館長さん、公民館主事さんははじめ、多くの地域の方に関わっていただき、活動に活動を進めてきています。また【生徒主導の探究型 シン・ドリーム大学】をスタートさせ、生徒の興味関心から探究を進めて行く中で、地域の方と出会い、お話を聴きしたり一緒に活動させていただいたりしながら、地域とともにある、地域に開かれた学校づくりをしております。今年度の活動の様子を一部紹介します。ご協力いただき大変有意義な活動になっていますが、逆に地域の方より「君たちの力が必要だ」という要望や「ありがとう。また是非力を貸して。」というプラスのフィードバックがあれば、生徒たちは自己肯定感が上がりさらにやる気になります。本校生徒の力が必要なことがあれば是非ご相談ください。時間が限られているので全部に対応できるかはわかりませんが、可能な限りご協力させていただきます。



小学生の通学合宿を 中学生もお手伝い (地域の必要感)



入山辺の児童が共同生活



初開催 探究的な学習への転換
シン・ドリーム大学 山中学会

シン・ドリーム大学で
地域の方と出会い、
つながる



地域の方と出会い、つながる（必要感）



小学生や保護者、地域の方も交え、意見交換“レツツトーグ”



お願いしたいことが
すぐに実現





地域の方の学校に寄せる思いや
長い歴史を感じる機会に

「70周年記念式典」



打ち合わせを重ね
「そとカフェ」に参加
地域の方との交流が実現



地域からの「ありがとう」
「またお願ひ」の言葉で



「山辺中生徒の力が必要だ」
という地域の方々からの
連絡をお待ちしています